

技能統合型のリーディング指導の研究(2)

—「ジグソーリーディング」による授業実践—

津 村 敏 雄

要 旨

1970年代の初めに、アメリカの社会心理学者 Aronson が開発した協同学習 (Cooperative Learning) の技法である「ジグソー法 (The Jigsaw Method)」による教育実践は、当時のアメリカで深刻な社会問題となっていた人種間の対立を緩和して教育効果を高めることに多大なる成果を上げた。この「ジグソー法」が、約半世紀の時を超えて、日本の学校教育における次期学習指導要領のキーワードである「アクティブ・ラーニング」に繋がる効果的な指導法として、初等中等教育課程 (小学校・中学校・高等学校) のあらゆる教科への応用が期待され、様々な研究活動が行われている。本稿では、「ジグソー法」の英語教育への応用例として「ジグソーリーディング (Jigsaw Reading)」を取り上げ、具体的な授業実践の方法 (教材作成や授業運営など) を論じるとともに、「ジグソーリーディング」の活動を通して、リーディングの技能の指導のみならず、リスニングやスピーキング、そしてライティングの技能を統合する「ジグソーリーディング」の指導の在り方について考察する。

I. はじめに

「ジグソー法 (The Jigsaw Method)」は、1971年にアメリカの社会心理学者の Aronson が人種融合政策として開発した協同学習 (Cooperative Learning) の技法である。当時のアメリカは、長年に渡って黒人を差別してきた「ジム・クロウ法 (Jim Crow laws)」が1964年に廃止されたことで、人種間、とりわけ白人と黒人 (アフリカ系アメリカ人) の対立や偏見が激しくなり、極めて深刻な社会問題となっていた⁽¹⁾。Aronson が住んでいたテキサス州オースティンでも、以前は白人と黒人およびラテン系の子供たちは別々の公立学校で教育を受けてきたが、すべての子供たちが強制的に同じ学校で教育を受けることになったために、いじめや暴力事件の発生件数が大幅に増加するようになった。また、黒人およびラテン系の住民の多数を占める地区の学校では、白人の住民が多数を占める地区の学校で提供されているのと同じ質の教育を提供されておらず、黒人およびラテン系の児童生徒の知識、読解力、知的な好奇心、認知的技能で競争する能力が劣っており、人種による教育内容の質の格差が生じていたことも浮き彫りとなった。そこで、Aronson は学校で子供たちの様子を観察したところ、常に同じ人種でグループとなって行動していることが問題であると指摘し、子供たち同士の対立や偏見を解消するには異なる人種が交流してお互いを理解し合うことが重要であるとして、ジグソーパズルを解くようにメンバーで協力し合う協同学習である「ジグソー法」を考案し、人種間の子供たちの対立や偏見を和らげることに成功した⁽²⁾。以降、「ジグソー法」は教育的効果の高い協同学習の技法として

世界中に知られるようになり、現在も世界の多くの国で様々な教科・科目での教育実践が行われている。これから論じる「ジグソーリーディング (Jigsaw Reading)」も、Aronsonが考案した「ジグソー法」を応用して開発された英語教育におけるリーディング指導の技法であり、複数のピースに分割された文章に課された問いをグループによる協同学習で解決していく学習方法のことである。なお、最近の「ジグソー法」の応用例としては、東京大学の大学発教育支援コンソーシアム推進機構 (CoREF) が開発した「知識構成型ジグソー法」がある⁽³⁾。このように、Aronsonが開発した「ジグソー法」は、次期学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング)」を養成する指導法として大いに注目されている。

Ⅱ. 「ジグソー法」の基本型

「ジグソーリーディング」の授業実践を展開する前に、「ジグソー法」の基本型について簡潔に説明しておく。グループ(「ジグソーグループ」と呼ぶ)の構成人数を4名(A, B, C, D)とする⁽⁴⁾。下の例では16名なので4つのグループとなる(図1)。まず、第1段階(プレ活動)として、各自の担当部分の教材(A, B, C, Dでそれぞれ異なる内容)を受け取り、各個人で担当部分の教材を読み込んで考える。次に、第2段階(エキスパート活動)として、同じ担当部分の人が集まるエキスパートグループに移動して、プレ活動で考えた意見を交換するとともに、グループで担当部分ならばどのような質問にも答えることができる「専門家 (expert)」となるように細部に至るまで徹底的に学習し合う。最後に、第3段階(ジグソー活動)で元の位置に戻って、各自の担当部分の内容をグループに説明したり、各自の情報を持ち寄ることで、課題をグループ全員で解決するジグソー活動を行う⁽⁵⁾。



図1 「ジグソー法」の基本型

Ⅲ. 「ジグソーリーディング」の授業実践

では、「ジグソーリーディング」の授業実践について具体的に詳しく説明する。例えば、36名が在籍しているクラスの場合、図2のように縦横6列ずつの教室環境であると設定する。

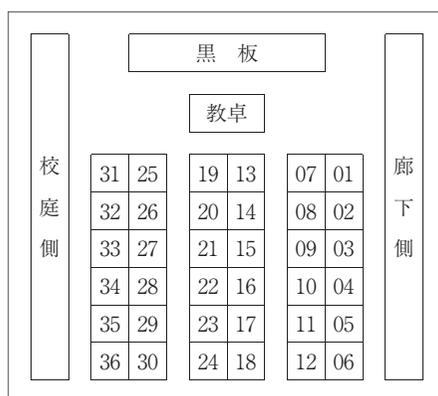


図2 教室例

まず、活動の準備段階として、「ジグソーリーディング」におけるジグソーグループの作成について述べる。道徳の授業や学校行事（自然教室や修学旅行など）のグループ活動や班活動においては、6名で1つのグループ（36名学級では教室の前後を半分に分けて6つのグループ）で活動を行うことが多いが、「ジグソーリーディング」におけるジグソーグループは4人で1つのジグソーグループを形成する。例えば、36名学級では、図3の太線の枠で示すように、前後左右の4人（A、B、C、D）で1つのジグソーグループを作ると、9つのジグソーグループが出来上がる。

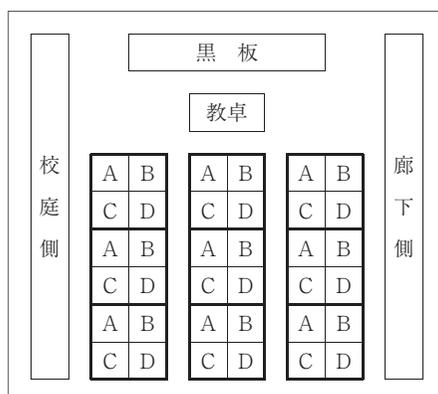


図3 ジグソーグループ（グループ分け・プレ活動）

次に、「ジグソーリーディング」で使用する1つの課の文章全体を4つのパートの文章に分割して作成した4種類のプリント教材（「■」「▲」「●」「◆」の記号で分類）を各グループのA, B, C, Dの生徒に配布する⁽⁶⁾。つまり、ジグソーグループのメンバーは各々がそれぞれ異なるパートのプリント教材を受け取る。例えば、表1は、中学3年用の英語教科書である『Sunshine English Course 3』（開隆堂）のExtensive Reading①「After Twenty Years」の4つのパートのうち、最初のパートを「ジグソーリーディング」のために作成したプリント教材である（資料1～3）。この作品は、アメリカの小説家O. Henryが1906年に発表した短編小説「After Twenty Years」を書き下ろしたものである。ストーリー性のある読み物を読んで英語を読む楽しさを実感するとともに、友情・約束・正義・優しさなどについても深く考えさせたい。左上にある「■」の記号は4つのパートの種別を表すための役割を果たしているに過ぎないのであって、今回のプリント（資料も含む）では「■」→「▲」→「●」→「◆」という順番で固定して表示しているが、実際の授業で実践する際には、記号の順番はランダム（「◆」→「●」→「■」→「▲」や「▲」→「●」→「◆」→「■」など）にすることが重要である。なお、「ジグソーリーディング」の各パート用のプリントには、本文全体を4つに分割したパートの文章を載せるだけでも構わないが、今回作成したプリントには（<Words & Phrases>として）このパートに登場する語彙（単語・熟語など）をまとめてチェックすることができるように工夫を加えている（表1）。

表1 プレ活動・エキスパート活動で使用するプリント例（資料2から一部を抜粋）

■
<Words & Phrases>
<input type="checkbox"/> policeman <input type="checkbox"/> walk along ~ <input type="checkbox"/> walk up to ~ <input type="checkbox"/> officer <input type="checkbox"/> promise <input type="checkbox"/> struck (<strike) <input type="checkbox"/> strike a match <input type="checkbox"/> smoke <input type="checkbox"/> go on ~ing <input type="checkbox"/> west [the West] <input type="checkbox"/> fortune <input type="checkbox"/> come around <input type="checkbox"/> go away
<p>On a cold night in New York City, a policeman was walking along a dark street. He saw a man near the door of a store and walked up to him.</p> <p>"It's all right, officer," the man said. "I'm just waiting for a friend. Twenty years ago we promised to meet here again tonight."</p> <p>Then the man struck a match to smoke. The light showed his face. He went on talking. "We said goodbye here. I started for the West to make my fortune. I was eighteen."</p> <p>"Very interesting!" said the policeman. "I hope your friend will come around all right." Then he went away.</p>

続いて、「ジグソーリーディング」の授業運営の手順について、第1段階「プレ活動」、第2段階「エキスパート活動」、第3段階「ジグソー活動」、第4段階「クロストーク活動」の順番に説明する⁽⁷⁾。

第1段階の活動は、個人で行う「プレ活動」である。各グループのA, B, C, Dの生徒がそれぞれ自分のパートの文章を、よく読み込んで内容を理解するとともに、わからない点についても（次の

段階のエキスパート活動で確認できるように) 明確にしておくことにある。

第2段階の活動は、グループ(エキスパートグループ)で行う「エキスパート活動」である。この活動は同じパートを担当する生徒全員でグループ(エキスパートグループ)を作って行う活動である。エキスパートグループの作り方は、元のグループ(ジグソーグループ)の4名の生徒(A, B, C, D)が、教室の四隅に設置したそれぞれのエキスパートグループ(Aのエキスパートグループ, Bのエキスパートグループ, Cのエキスパートグループ, Dのエキスパートグループ)に移動する(図4)。例えば、36名学級では、図4の太線の枠で示すように、それぞれ9名からなる4つのエキスパートグループが出来上がる。そして、グループ活動を行いやすくするように机を繋げる。ここでは、各エキスパートグループに新たに配布されるプリント教材(資料4)を使いながら、「プレ活動」で考えた個人の意見をエキスパートグループ内で交換することで、本文の内容理解を深めるとともに、どんな質問にも答えられるように、細部に至るまで徹底的に学習する(表2)。

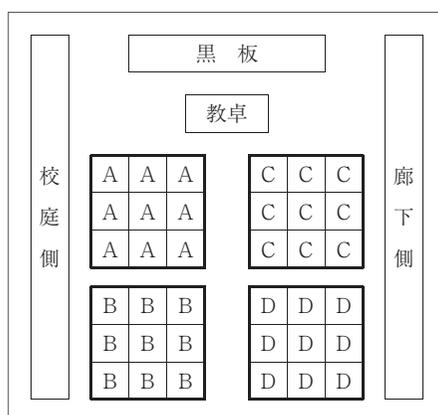


図4 エキスパートグループ(エキスパート活動)

表2 エキスパート活動で使用するプリントの例(資料4から一部を抜粋)



- Q1. What was the man doing?
- Q2. Where were the policeman and the man?
- Q3. What was the policeman doing when he saw a man near the door of a store?
- Q4. What did the man say when the policeman walked up to him?
- Q5. What did the man promise his friend twenty years ago?
- Q6. What did the man do to smoke?
- Q7. What did the man go after they said goodbye?
- Q8. What did the policeman say before he went away?

第3段階の活動はグループ（ジグソーグループ）で行う「ジグソー活動」である。“ジグソー”という名称が付いている通り，この活動が「ジグソーリーディング」の中心となる活動となる。教室の四隅で行っていたエキスパート活動のエキスパートグループから，元のジグソーグループの場所に戻り，グループ活動ができるように机を繋げる（図5）。

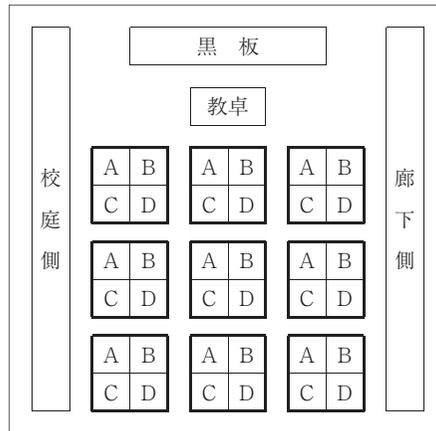


図5 ジグソーグループ（ジグソー活動）

ここで，教師から全員にジグソー活動で用いるプリント教材と4枚のカードが配布される（資料5，資料6，資料7）。プリント教材（資料6，資料7）は両面刷りで作成する。表面には，各パートに関する問いがあり2問ずつ，最後の部分には「◆」のパートに関するライティングの問題（手紙の返信を書く問題）がある（資料6，表3）。裏面には，ジグソー活動中に困った時のヒントとして活用することを目的として，全てのパートのプリント（各パートが持っているプリント）が印刷されている（資料7）。そして，4枚のカードには，各パートを描写したイラストや風景・人物などの写真が載っている。

表3 ジグソー活動で使用するプリントの例（資料6から一部を抜粋）

Q1. *Where was the man standing when the policeman saw him on a dark street?*
 Q2. *Why was the man there?*

・・・(中略)・・・

- BobになったつもりでJimmyに返信の手紙を書いてみましょう。

Jimmy,

ジグソー活動は、各パートがエキスパート活動の成果をグループで発表することで本文全体の内容をグループ全員が理解するとともに、プリントの問いを解くとともに、4枚のカードをストーリーの順番に並び替えることにある。なお、グループの中に英語が不得意な生徒（「スローラーナー」を含む）がいる場合、その生徒の担当パートの発表が不十分となることが起こり得る。そのような場合には、メンバー全員でプリントの裏面にあるそのパートの英文をヒントにして、チームワークで問いを解き、ストーリーの順番を考えるように指導する。本来の「ジグソーリーディング」の目的とは、単に問いを解くことなのではなく、自分の考えを他者が理解することができるように伝えること、他者の考えを聞いて理解すること、自分と他者の意見が異なる場合に意見交換をして調整し合うこと、すなわち、他者理解にあることも、活動を通して生徒に理解させるように指導すべきである。



図6 ジグソー活動で使用する4枚のカードの例

最後となる第4段階の活動は、クラス全体で行う「クロストーク活動」である。この活動はジグソーグループで行った「ジグソーリーディング」に関して、各グループと意見交換や討論を行うものである。例えば、自分たちのグループとは異なるストーリーの展開を考えたグループの主張や、登場人物の気持ちを自分たちのグループとは異なる解釈をしたグループの意見が出ることもある。また、各グループと答えは同じでも根拠の説明が違う場合もある。このように、クラス全体で各グループの意見や考えを共有することは、同時に活動全体の振り返りを行う機会でもあり、非常に深い学習である。なお、「ジグソーリーディング」の活動全体を通して、教師は必ず机間巡視を行って、グループでの

活動をサポートする役割をすることが大切である。例えば、あまり理解できていないと判断される部分を敢えて生徒に質問するなど、生徒の主体的な学びの活動を妨げることがないように気をつけながら、また、英語が不得意な生徒（スローラーナーも含む）には寄り添って優しくゆっくりと丁寧に指導するなどの個に応じた指導も心掛けるようにしたい。

IV. 他技能（リスニング・スピーキング・ライティング）との統合

「ジグソーリーディング」は、「リーディング」と名前に付いている通り、リーディングの指導なのであって、リーディングの技能を育成することを主たる目的としている。だが、「ジグソーリーディング」の活動を通して、リーディング以外の他の技能（リスニング・スピーキング・ライティング）を統合的に育成すべく、指導方法に創意工夫を凝らすことで様々な技能統合型の活動が行える。

例えば、リスニングおよびスピーキングとリーディングとの技能の統合については、ジグソーグループのジグソー活動において、本文の登場人物に読み手を決めて（例えば、『Sunshine English Course 3』（開隆堂）のExtensive Reading①「After Twenty Years」では、Bob役、Jimmy役、the tall man役、ナレーター役の4名で）本文全体を通して、劇を演じるようにロールプレイをすることで、楽しくリスニングとスピーキングの技能を統合したリーディング活動を行うことができる。4つの役割があるので順番に役割を交替して、一巡するまでロールプレイを行うとよいであろう。なお、ロールプレイを行う前に、グループで発音を確認し（よくわからない場合には教師に確認する）、個人読みやパスリーディングをグループで音読練習をしてから行うとスムーズである。

そして、ライティングとリーディングとの技能の統合については、文章をしっかりと読んで十分に内容を理解してから文を書かせるという活動にすることが望ましい。例えば、『Sunshine English Course 3』（開隆堂）のExtensive Reading①「After Twenty Years」では、「◆」のパートのジグソー活動のプリントにJimmyの手紙をよく読み、返信するとしたらどのような内容の手紙を書くだらうかをじっくりと考えてBobになったつもりで心を込めて誠実な気持ちで書くというライティング活動を設けることにした。この活動のねらいは、「ジグソーリーディング」を通して本文全体の内容を理解するとともに、Jimmyの手紙に込められた言外のメッセージも読み取った上で、書き手であるBobの心理状態を思いやって返信の手紙を書くという深い学びにある。なお、書いた手紙をジグソーグループでの活動やクラス全体でのクロストークにおいて英語で発表し合えばスピーキングの技能を統合する活動になる。

これまで、中学3年用の英語教科書を教材として「ジグソーリーディング」の実践例を説明してきたが、他学年（中学1年・中学2年）や他校種（高校）の場合について簡単に紹介しておきたい。例えば、中学1年用の英語教科書の『New Horizon English Course 1』（東京書籍）のLet's Read「The Restaurant with Many Orders」を材料して作成した教材が資料8～10である。「The Restaurant with Many Orders」は、宮澤賢治の『注文の多い料理店』の翻案で、原作を読んだことのある生徒も多いことが予想されるが、たとえ読んだことがなくても面白くて親しみやすい教材である。物語文なので、あらすじや場面の変化、そして登場人物の心情などを理解させるような指導をしたい。そして、

高校1年用の英語教科書『Element English Communication I』（啓林館）のLesson 2「Christian the Lion」を材料にして作成した教材が資料11～14である。この話は実話であり、ペットとして飼っていたライオンとアフリカで再会する感動的な話である。このストーリーを実録した映像作品のDVDなどがあるので「ジグソーリーディング」の活動の総仕上げとして視聴覚教材を使用するのも良いであろう。

V. おわりに

本稿では、Aronsonが開発した協同学習の技法である「ジグソー法」を英語教育のリーディングに応用した「ジグソーリーディング」の具体的な授業実践について、教室でのジグソーグループの作り方、「ジグソーリーディング」で使用する教材の作成方法、「ジグソーリーディング」の諸活動などについて、できる限り詳しく説明した。さらに、「ジグソーリーディング」の活動を通して、リーディングの指導と他技能（リスニング・スピーキング・ライティング）の指導を統合した活動の実践例について、リーディングとリスニング・スピーキングを統合する活動例と、リーディングとライティングを統合した活動例などについて述べた。文部科学省によれば、アクティブ・ラーニングとは、「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」のことである。本稿で論じた「ジグソーリーディング」は、生徒が能動的に働きかけるような学習になるように設計されており、ジグソーグループやエキスパートグループにおいてメンバー同士で教え学び合いながら、課題の発見と解決に向けて努力し合う協働学習である。そして、生徒は各自が担当する部分の内容と情報が課題の解決に欠かせない条件になっているので、生徒は個人レベルにおいても主体性と責任感を持って真剣に学ぶことになる。このように、生徒が主体的・協働的な学習を繰り返していく授業実践を通して、自立した学習者（もしくはアクティブ・ラーナー）が育まれるのである。冒頭部分で述べたように、「ジグソー法」はアクティブ・ラーニングに繋がる効果的な指導法として、初等中等教育課程（小学校・中学校・高等学校）のあらゆる教科への応用が期待され、様々な研究や授業実践が行われている。英語教育に関しても、「ジグソー法」の応用は始まったばかりであり、授業実践の報告も「ジグソーリーディング」がほとんどである。今後の課題や展望としては、リーディングのみならず、他の技能（リスニング・スピーキング・ライティング）への応用（「ジグソーリスニング」「ジグソースピーキング」「ジグソーライティング」）が大いに期待される。

資料1 本文全体 (中学3年用)

Extensive Reading① After Twenty Years

On a cold night in New York City, a policeman was walking along a dark street. He saw a man near the door of a store and walked up to him.

"It's all right, officer," the man said. "I'm just waiting for a friend. Twenty years ago we promised to meet here again tonight."

Then the man struck a match to smoke. The light showed his face. He went on talking. "We said goodbye here. I started for the West to make my fortune. I was eighteen."

"Very interesting!" said the policeman. "I hope your friend will come around all right." Then he went away.

About twenty minutes later, a tall man came from across the street. His face was not clear in the dark.

"Is that you, Bob?" the tall man asked.

"Is that you, Jimmy?" asked the man by the door. Each man took the other man's hand.

"You've changed a lot, Jimmy!"

"Oh, I grew a bit after I was twenty," said the tall man.

"Are you doing well in New York, Jimmy?"

"Yes. I work for the city. Let's go to a place that I know well and have a talk about old times."

The two men began to walk along the dark street.

"Were you successful in the West, Bob?" asked the tall man.

"Yes, I was!" answered Bob. And he began to tell the story of his life in the West.

At a corner of the street, there was a drugstore. Its lights were on. When the two men came near the store, they stopped and looked at each other's face.

"You're not Jimmy!" said Bob. "Twenty years is a long time, but it can't change a man's face that much."

"It sometimes changes a good man into a bad man," said the tall man.

"You're wanted by the Chicago police. You've been under street for ten minutes, Bob. Now, before we go, here's a note I was asked to hand you. It's from Jimmy," said the tall man.

When Bob finished reading the note, his hands trembled a little.

Bob,

I was on time at the police we decided. I was happy to find you there. But when you struck the match to smoke, I saw the face of the man wanted in Chicago. Somehow I couldn't do it myself, so I sent another policeman to bring you in.

Jimmy

資料2 プレ活動・エキスパート活動で使用するプリントの例 その1 (中学3年用)



< Words & Phrases >

- policeman walk along ~ walk up to ~ officer promise
struck (<strike) strike a match smoke go on ~ing west [the West]
fortune come around go away

On a cold night in New York City, a policeman was walking along a dark street. He saw a man near the door of a store and walked up to him.

"It's all right, officer," the man said. "I'm just waiting for a friend. Twenty years ago we promised to meet here again tonight."

Then the man struck a match to smoke. The light showed his face. He went on talking. "We said goodbye here. I started for the West to make my fortune. I was eighteen."

"Very interesting!" said the policeman. "I hope your friend will come around all right." Then he went away.



< Words & Phrases >

- make from across ~ Jimmy grew (<grow) a bit do well
have a talk men (<man)

About twenty minutes later, a tall man came from across the street. His face was not clear in the dark.

"Is that you, Bob?" the tall man asked.

"Is that you, Jimmy?" asked the man by the door. Each man took the other man's hand.

"You've changed a lot, Jimmy!"

"Oh, I grew a bit after I was twenty," said the tall man.

"Are you doing well in New York, Jimmy?"

"Yes. I work for the city. Let's go to a place that I know well and have a talk about old times."

The two men began to walk along the dark street.

資料3 プレ活動・エキスパート活動で使用するプリントの例 その2 (中学3年用)



< Words & Phrases >

successful corner drugstore change ~ into

"Were you successful in the West, Bob?" asked the tall man.

"Yes, I was!" answered Bob. And he began to tell the story of his life in the West.

At a corner of the street, there was a drugstore. Its lights were on. When the two men came near the store, they stopped and looked at each other's face.

"You're not Jimmy!" said Bob. "Twenty years is a long time, but it can't change a man's face that much."

"It sometimes changes a good man into a bad man," said the tall man.



< Words & Phrases >

police under arrest note tremble on time somehow
bring ~ in do it (= bring you in)

"You're wanted by the Chicago police. You've been under street for ten minutes, Bob. Now, before we go, here's a note I was asked to hand you. It's from Jimmy," said the tall man.

When Bob finished reading the note, his hands trembled a little.

Bob,

I was on time at the police we decided. I was happy to find you there. But when you struck the match to smoke, I saw the face of the man wanted in Chicago. Somehow I couldn't do it myself, so I sent another policeman to bring you in.

Jimmy

資料4 エキスパート活動で使用するプリントの例 (中学3年用)



- Q1. *What was the man doing?*
- Q2. *Where were the policeman and the man?*
- Q3. *What was the policeman doing when he saw a man near the door of a store?*
- Q4. *What did the man say when the policeman walked up to him?*
- Q5. *What did the man promise his friend twenty years ago?*
- Q6. *What did the man do to smoke?*
- Q7. *What did the man go after they said goodbye?*
- Q8. *What did the policeman say before he went away?*



- Q1. *Who came from across the street about twenty years later?*
- Q2. *When the two men met, could Bob see the tall man clearly?*
- Q3. *Was Bob happy to meet the tall man?*
- Q4. *What did Bob say when he met the tall man?*
- Q5. *Then, what did Jimmy say?*
- Q6. *Was Jimmy doing well in New York?*
- Q7. *What did Jimmy do in New York?*
- Q8. *Where did they go?*

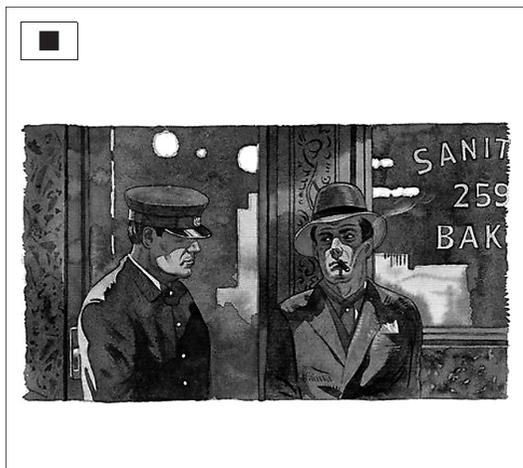


- Q1. *What did Bob talk about with the tall man?*
- Q2. *Was Bob successful in the West?*
- Q3. *Where was a drugstore?*
- Q4. *Were the lights at the store on?*
- Q5. *What did the two men do when they came near the store?*
- Q6. *What did Bob say when he looked at the tall man in the light of the drugstore?*
- Q7. *Were their faces clear in the lights of the drugstore?*
- Q8. *Was the tall man Jimmy?*



- Q1. *What did the tall man hand to Bob?*
- Q2. *Who wrote the note?*
- Q3. *Who handed the note to Bob?*
- Q4. *Who was wanted by the police?*
- Q5. *Was Jimmy on time at the place they decided?*
- Q6. *Why Jimmy send another policeman to bring Bob in?*
- Q7. *Did twenty years change Bob into a bad man?*
- Q8. *What did Bob think after he read the note?*

資料5 ジグソー活動で使用する4枚のカードの例(中学3年用)



(出所) 松畑熙一 監修 (2016), 『Sunshine English Course 3』 開隆堂. pp.98-101 から筆者作成

資料6 ジグソー活動で使用するプリントの例 [表面] (中学3年用)



- Q1. *Where was the man standing when the policeman saw him on a dark street?*
Q2. *Why was the man there?*



- Q1. *When the two men met, could Bob see the other man clearly?*
Q2. *Where was the tall men taking Bob?*



- Q1. *What did Bob talk about with the tall man?*
Q2. *What did Bob say when he looked at the tall man in the light of the drugstore?*



- Q1. *What did the tall man hand to Bob?*
Q2. *When did Jimmy understand clearly that Bob was a wanted man?*

- Bob になったつもりで Jimmy に返信の手紙を書いてみましょう。

Jimmy,

資料7 ジグソー活動で使用するプリントの例〔裏面〕(中学3年用)



< Words & Phrases >

- policeman walk along ~ walk up to ~ officer promise
struck (< strike) strike a match smoke go on ~ing west [the West]
fortune come around go away

On a cold night in New York City, a policeman was walking along a dark street. He saw a man near the door of a store and walked up to him.

"It's all right, officer," the man said. "I'm just waiting for a friend. Twenty years ago we promised to meet here again tonight."

Then the man struck a match to smoke. The light showed his face. He went on talking. "We said goodbye here. I started for the West to make my fortune. I was eighteen."

"Very interesting!" said the policeman. "I hope your friend will come around all right." Then he went away.



< Words & Phrases >

- make from across ~ Jimmy grew (< grow) a bit do well
have a talk men (< man)

About twenty minutes later, a tall man came from across the street. His face was not clear in the dark.

"Is that you, Bob?" the tall man asked.

"Is that you, Jimmy?" cared the man by the door. Each man took the other man's hand.

"You've changed a lot, Jimmy!"

"Oh, I grew a bit after I was twenty," said the tall man.

"Are you doing well in New York, Jimmy?"

"Yes. I work for the city. Let's go to a place that I know well and have a talk about old times."

The two men began to walk along the dark street.



< Words & Phrases >

- successful corner drugstore change ~ into

"Were you successful in the West, Bob?" asked the tall man.

"Yes, I was!" answered Bob. And he began to tell the story of his life in the West.

At a corner of the street, there was a drugstore. Its lights were on. When the two men came near the store, they stopped and looked at each other's face.

"You're not Jimmy!" said Bob. "Twenty years is a long time, but it can't change a man's face that much."

"It sometimes changes a good man into a bad man," said the tall man.



< Words & Phrases >

- police under arrest note tremble on time somehow
bring ~ in do it (= bring you in)

"You're wanted by the Chicago police. You've been under street for ten minutes, Bob. Now, before we go, here's a note I was asked to hand you. It's from Jimmy," said the tall man.

When Bob finished reading the note, his hands trembled a little.

Bob,

I was on time at the police we decided. I was happy to find you there. But when you struck the match to smoke, I saw the face of the man wanted in Chicago. Somehow I couldn't do it myself, so I sent another policeman to bring you in.

Jimmy

資料8 プレ活動・エキスパート活動で使用するプリントの例 (中学1年用)



< Words & Phrases >

order (s) lost (<lose) forest found (<find) message (s) door
understand

Two hunters lost their way in a forest. They found a restaurant, Wildcat House. One hunter said, "I'm hungry. We can eat here." They read a message on the dor. It said, "We have many orders. Please understand."



< Words & Phrases >

off clothes body, bodies hunter (s) Wildcat House gun (s)
salt vinegar take off

In the restaurant, the hunters saw many messages. The messages said, "Put your guns on the table," "Take off your clothes," and "Put salt and vinegar on your bodies"



< Words & Phrases >

strange those eye (s)

"That's strange," one hunter said. "We're not making orders. Those messages are orders from this restaurant!" "That means Oh, no! We're the food!" Then the hinters saw two shiny eyes in two big keyholes of the door. "Those eyes are watching us!"



< Words & Phrases >

stood (<stand) alone wind blew (<blow) over shiny
keyhole (s) out of ~ look back

The hinters ran out of the restaurant. One hunter looked back and said, "Where is the restaurant? It's not there." They stood alone in the forest. The wind blew over them.

資料9 エキスパート活動で使用するプリントの例 (中学1年用)



- Q1. *Where did the hunters lose their way?*
- Q2. *What did the hunters find in a forest?*
- Q3. *What the name of the restaurant?*
- Q4. *Did the hunters go into the restaurant?*
- Q5. *What did one hunter say?*



- Q1. *Did the hunters read a message on the window?*
- Q2. *What did the message on the door say?*
- Q3. *Did the message say, "Put your guns on the table"?*
- Q4. *Did the hunters take off their coats?*
- Q5. *What did the hunters put on their bodies?*



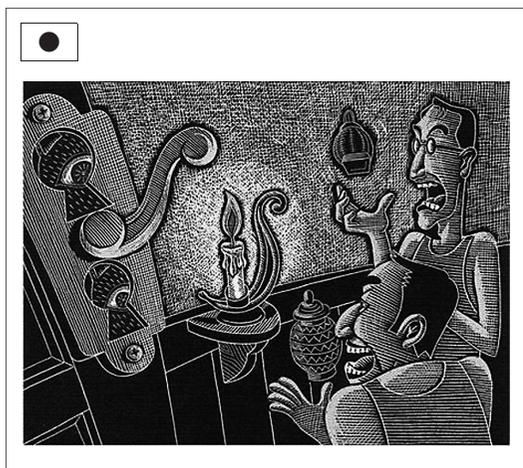
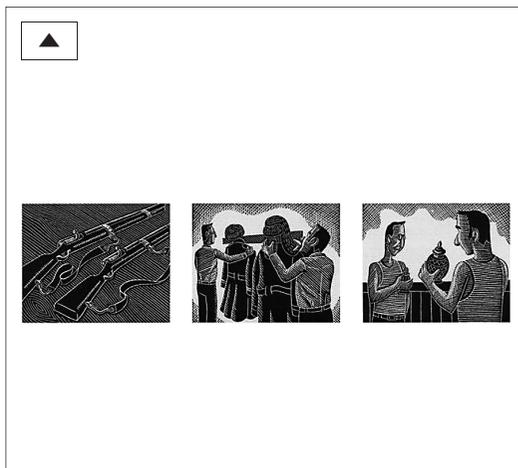
- Q1. *Why did one hunter say, "That's strange"?*
- Q2. *What did the hunters see in the two big keyholes?*
- Q3. *Did the hunters see one shiny eye?*
- Q4. *Did the hunters make orders in the restaurant?*
- Q5. *Were the two shiny eyes watching the hunters?*



- Q1. *Did the hunters stay in the restaurant?*
- Q2. *Why did the hunters run out of the restaurant?*
- Q3. *Did the hunters look back and see the restaurant?*
- Q4. *What did one hunter say?*
- Q5. *Did the hunters stand by the restaurant in the forest?*

(出所) 筆者作成

資料10 プレ活動・エキスパート活動で使用するプリントの例 (中学1年用)



(出所) 笠島準一・関 正明 編 (2016), 『New Horizon English Course 1』東京書籍. pp.128-129 から筆者作成

資料11 プレ活動・エキスパート活動で使用するプリントの例 その1 (高校1年用)



< Words & Phrases >

- shopper Ace Christmas cage sale for sale cry out
in surprise feel sorry for ~

Shoppers filled a big London department store one day in 1969. John and Ace shared a house in London. They were shopping then for Christmas presents to send their families in Australia.

While they were shopping, they found a small cage with a baby lion in it for sale! "I've never seen a lion at a department store!" Ace cried out in surprise.

The baby lion was cute but looked really sad. They felt sorry for the lion in such a small cage. Finally John said, "Let's buy him."



< Words & Phrases >

- male Christian gently pull lovely including last
come to do get along (well) pull on ~ with a smile grow up

The male lion was named Christian. In just a few days, Christian came to like his new life with John and Ace. The two men and Christian got along really well. If one of the men was talking to the other, Christian would touch him gently to show that he wanted to play with them.

Christian also loved to go out. John and Ace bought a special collar for him. When they walked with him, he pulled on his lead like excited little dog. They also ran and played with a ball together in a field for hours. "I can't imagine life without him," John said with a smile.

At first, people were surprised to see a lion in the city of London. However, they soon found that Christian was a lovely little friend. Lots of people, including newspaper photographers and television reporters, came to see him.

However, Christian was growing up very fast. John and Ace felt their happy life wouldn't last long.

(出所) 卯城祐司・磐崎弘貞・中川知佳子ほか (2016) 『Element English Communication I』啓林館. pp.18-19
から筆者作成

資料12 プレ活動・エキスパート活動で使用するプリントの例 その2 (高校1年用)



< Words & Phrases >

- belt teeth angrily sharp shocked remind expert
Kenya set pick up ~ / pick ~ up train ~ to do

"One day, Christian found a belt in the house and picked it up in his teeth. Ace tried to take the belt from him, but for the first time he angrily showed his sharp teeth. Ace was shocked, and that reminded him that Christian was a wild animal.

A few days later, the two men met George, an expert on lions from Africa. George said that Christian should join other lions in the wild. John and Ace knew that a life in the wild was best for Christian, so they finally agreed with George's idea.

The three men went to Kenya to set Christian free. They also needed to train Christian to live in the wild. Christian, then, met his new lion friends and learned their ways of living.

Their last day arrived quickly. John and Ace spend one last fun day with Christian. The next morning they left early without saying goodbye.



< Words & Phrases >

- situation fright paw chest lick friendship limit
get near ~ watch out

One year later, John and Ace came back to Africa. George said to them, "He's been fine with the other lions. He loves his new life and behaves like a wild animal." The two men were also told that it would be too dangerous to get near Christian now.

When they came to a field, a lion appeared. It was Christian! Suddenly he started to run toward them. In such a situation, anyone would shout, "Watch out!" in fright. Christian, however, placed his big paws on Ace's chest and started licking his face! He did the same to John.

"I can't believe it. He remembers us!" said Ace.

"I knew he wouldn't forget us. I just knew it," said John.

Later, Christian even took his old friends to see his new family. The men realized that true friendship and love have no limits.

(出所) 卯城祐司・磐崎弘貞・中川知佳子ほか (2016) 『Element English Communication I』啓林館. pp.18-19
から筆者作成

資料13 エキスパート活動で使用するプリントの例 (高校1年生用)



Q1. Which is the correct title for this part?

- (1) Last Days with Christian (2) A Baby Lion for Sale (3) Meeting Again
(4) Exciting Life in the City

Q2. Where did John's and Ace's families live?

Q3. What did John and Ace find while they were shopping?

Q4. Did the baby lion look happy in his cage?

Q5. Why did John and Ace decide to buy the baby lion?



Q1. Which is the correct title for this part?

- (1) Last Days with Christian (2) A Baby Lion for Sale (3) Meeting Again
(4) Exciting Life in the City

Q2. What did John and Ace name the baby lion?

Q3. Did the two men and the baby lion get along well and spend a happy time together?

Q4. Did Christian like playing at home but not outside?

Q5. Was Christian growing very fast or very slowly?



Q1. Which is the correct title for this part?

- (1) Last Days with Christian (2) A Baby Lion for Sale (3) Meeting Again
(4) Exciting Life in the City

Q2. Why was Ace shocked at Christian?

Q3. Where did John and Ace take Christian to?

Q4. Did John and Ace say goodbye when they left?

Q5. Did George teach John and Ace how to keep a lion in a big city?



Q1. Which is the correct title for this part?

- (1) Last Days with Christian (2) A Baby Lion for Sale (3) Meeting Again
(4) Exciting Life in the City

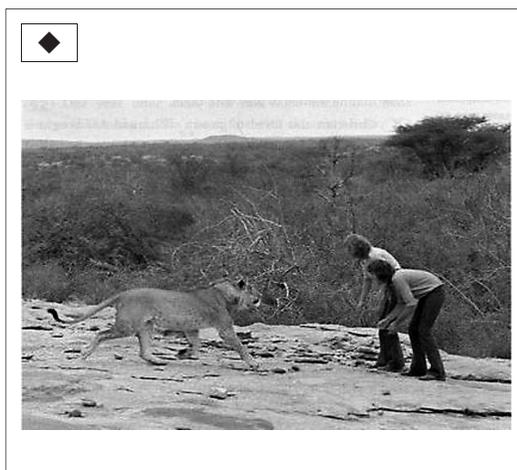
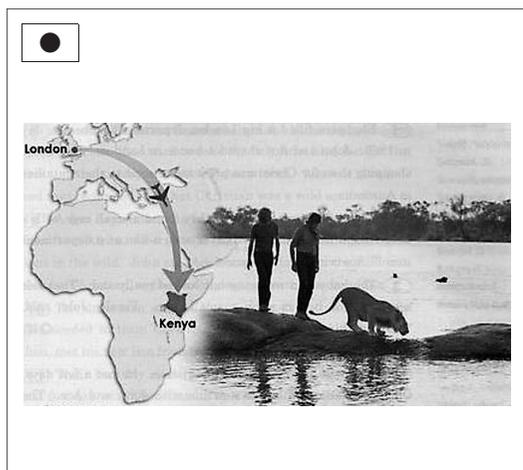
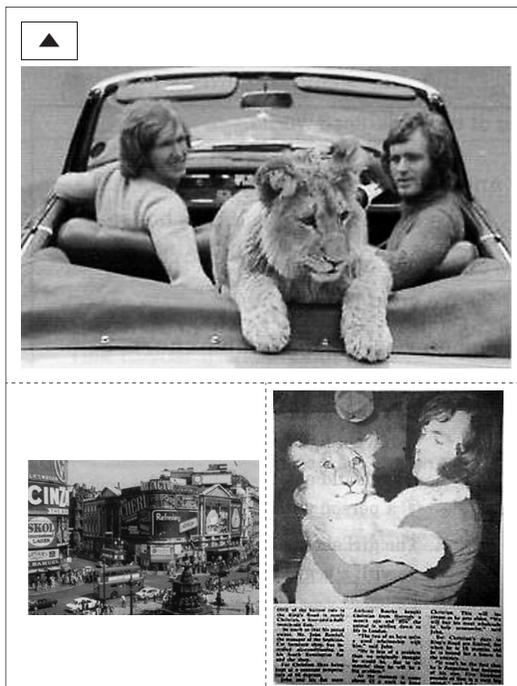
Q2. A year later, why did John and Ace come back to Africa?

Q3. Did Christian remember John and Ace?

Q4. Was Christian living alone in Africa?

Q5. Did John, Ace, and Christian have true friendship and love?

資料14 ジグソー活動で使用する4枚のカードの例 (高校1年生用)



(出所) 卯城祐司・磐崎弘貞・中川知佳子ほか (2016) 『Element English Communication I』啓林館. pp.18-19
から筆者作成

注

- (1) 「ジム・クロウ法 (Jim Crow laws)」は、1876年から1964年まで存在していた南部各州の人種分離法の総称のことである。この法律は、南アフリカのapartheidと同様に、交通機関や水飲み場、トイレ、学校や図書館などの公共機関、さらにホテルやレストランや遊戯場などにおいて、白人と黒人(有色人種も含む)を分離することを合法とするものであった。
- (2) Aronson (1997) によれば、「ジグソー法」を使用して6か月間に渡って教育実践を行い、他のクラス(競争的なクラス)とのデータを比べたところ、「ジグソー法」で教育実践を行ったクラスの方が、良好な人間関係、欠席数の減少(学校に来るのが楽しくなったことによる)、自尊心の高揚、成績の向上、相互共感・他者理解など、いずれの点においても優れているという結果となったと述べている。
- (3) CoREFは、「知識構成型ジグソー法」の活動とは、協同学習(Cooperative Learning)ではなく、協調学習(Collaborative Learning)であると述べている。協調学習は、学習者がグループ活動の中で互いの学習を助け合い、一人一人の学習に対する責任を果たすことでグループとしての目標を達成していく相互依存の学習である。なお、協調学習のことを協働学習と呼ぶこともあるが、英語表記はどちらもCollaborative Learningである。また、Aronsonの「ジグソー法」が人種の融合など児童生徒の関わり合いの促進がねらいであったのに対し、CoREFの「知識構成型ジグソー法」は児童生徒の関わり合いを通して一人一人が学びを深めることをねらいとしている。
- (4) Aronsonの「ジグソー法」では1つのジグソーグループは5、6名のメンバーで構成すると述べているが、「ジグソーリーディング」のジグソーグループは4名のメンバーで構成することになっているので、基本型の説明も4名で1グループとした。
- (5) つまり、ジグソー活動とは、ジグソーグループの4名のメンバーがそれぞれ異なった情報を持ち寄り、ジグソープズルのやり方と同様に、情報のピースを組み合わせて行くことでパズルの全体像、すなわち全体を通した課題の解答を見出すことができるような仕掛けになっている。
- (6) 資料では、記号と配列を「■」「▲」「●」「◆」とすべて同じ順番で共通にしているが、実際にジグソーリーディングを行う際には、記号の順番でストーリーの展開が予めわからないようにするために、この配列を毎回ランダムにするように心掛けたい。なお、今回は「■」「▲」「●」「◆」という記号を用いたが、「①」「②」「③」「④」などの数字や「A」「B」「C」「D」などのアルファベットでも構わない。
- (7) 授業の時間配分(50分)は、第1段階の「プレ活動」を5分、第2段階の「エキスパート活動」を15~20分、第3段階の「ジグソー活動」を15~20分、第4段階「クロストーク活動」を10分、というのが目安である。

参考文献

- Aronson, Elliot. & Patnoe, Shelly. (1997). *The Jigsaw Classroom: Building Cooperation in the Classroom (2nd Edition)*. New York: Longman.
- Aronson, Elliot. & Patnoe, Shelly. (2011). *Cooperation in the Classroom: the jigsaw method*. London: Printer & Martin.
- 江利川春雄 (2012), 『協同学習を取り入れた英語授業のすすめ』大修館書店.
- 江利川春雄 (2016), 『アクティブラーニングによる協同的な英語授業づくり』ジャパンライム.
- Griffin, Patrick. editor (2012). *Assessment and Teaching of 21st Century Skills*. New York: Springer.
- Johnson, David W. & Johnson, Roger T. (2002). *Circles of Learning: Cooperation in the Classroom (5th Edition)*. Edina, Minn.: Interaction Book.
- 管 正隆「日々は進化: ジグソー・リーディングを用いて」『英語教育』2004年3月. 大修館書店.42-44.
- 金谷 憲 編 (2009), 『英語授業ハンドブック中学校編』大修館書店.
- 金谷 憲 編 (2012), 『英語授業ハンドブック高等学校編』大修館書店.
- 笠島準一・関 正明 編 (2016), 『New Horizon English Course 1』東京書籍.

- 松畑熙一 監修 (2016), 『Sunshine English Course 3』 開隆堂.
- 三宅なほみ ほか (2016), 『協調学習とは：対話を通して理解を深めるアクティブラーニング型授業』 北大路書房.
- 大場浩正 「英語リーディング授業における信頼に基づく協同学習が協同的活動への認識に与える効果」 『上越教育大学研究紀要』 36(2), 2016年, 467-475頁.
- 杉江修治 (2011), 『協同学習入門：基本の理解と51の工夫』 ナカニシヤ出版.
- 杉江修治 (2016), 『協同学習がつくるアクティブ・ラーニング』 明治図書.
- ジョンソン・ジョンソン (2010), 『学習の輪：学び合いの協同教育入門』 二瓶社.
- 東京大学 CoREF (自治体との連携による協調学習の授業づくりプロジェクト) 『協調学習 授業デザインハンドブック 第2版：知識構成型ジグソー法を用いた授業づくり』 東京大学 CoREF.
- 友野清文 (2016), 『ジグソー法を考える：協同・共感・責任への学び』 丸善プラネット.
- 卯城祐司・磐崎弘貞・中川知佳子ほか (2016) 『Element English Communication I』 啓林館.
- 山本崇雄 (2015), 『はじめてのアクティブ・ラーニング！ 英語授業』 学陽書房.